

令和2年9月末の特殊詐欺発生傾向

集計期間R2.1.1～R2.9.30

○ キャッシュカードを封筒に入れて盗む事案が多発しています！（9月中5件発生）

「キャッシュカード詐欺盗」という手口が増加傾向にあります。
警察官等を騙る者が「キャッシュカードが不正に使用されている」等と言い、キャッシュカードを準備させた上、自宅に訪れた受け取り役が、**キャッシュカードを封筒に入れ、更に「封筒に封印が必要」**等と言って家人に印鑑を持ってこさせ、その際に、別のカード入りの封筒と**すり替えて**キャッシュカードを盗み取るという方法です。
この手口には、キャッシュカードに**切れ込み**を入れ、もう使えなくなったと安心させてキャッシュカードをだまし取ることもあるので注意してください。



※警察官が個人の暗証番号を電話で聞いたり、自宅に通帳やキャッシュカードを受け取りに行くことは絶対にありません。

○ 受け取り役には女性も！（9月末現在検挙した29人中6人は女性）

9月19日に佐久市内で発生した特殊詐欺は、警察官を名乗る男から「あなたの口座から60万円が引き出されている」「これからあなたの家に伺う」と言って、その後、**警察官を名乗る女が訪問**。女はキャッシュカードを受け取り、これを封筒に入れると、被害者が見ていない隙に別のカード入りの封筒とすり替えてキャッシュカードを盗み取りました。

※犯人は男性との先入観がありますが、女性の犯人もいますので是非注意してください。

○ 依然として架空料金請求詐欺が多発傾向！ 電子マネーの詐欺が7割

本年9月末の架空料金請求詐欺は、合計32件発生していますが、6月から9月に21件発生し、同期間に発生が集中しました。「有料サイト未納料金名目」「老人ホーム施設入居権に関する名義貸し名目」「訴訟トラブル名目」「セキュリティー対策のサポート名目」等うその口実で現金を要求します。特に、支払いの方法について「**電子マネーの番号を教えろ**」と言って金銭をだまし取る方法は**7割を占めています**。

※「電子マネーの番号教えろ」は詐欺なので注意してください。

特殊詐欺の類型等について

特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪をいう。

令和2年1月1日から、下記の10類型に分類した。

オレオレ詐欺	親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
預貯金詐欺	親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要であるなどの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
架空料金請求詐欺	未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
還付金詐欺	税金還付等に必要の手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る電子計算機使用詐欺事件又は詐欺事件をいう。
融資保証金詐欺	実際には融資しないにもかかわらず、融資を申し込んできた者に対し、保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
金融商品詐欺	架空又は価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨、高価な物品等に関する虚偽の情報を提供し、購入すれば利益が得られるものと誤信させ、その購入名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。これら金融商品に対して、購入意思のない被害者に名義貸しをさせた後、名義貸しをしたことによるトラブル解決名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものを含む。
ギャンブル詐欺	不特定多数の者が購入する雑誌に「パチンコ打ち子募集」等と掲載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信する等し、これに応じて会員登録等を申し込んできた被害者に対して会員登録料や情報料等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
交際あっせん詐欺	不特定多数の者が購入する雑誌に「女性紹介」等と掲載したり、不特定多数の者に対して「女性紹介」等を記載したメールを送付するなどし、これに応じて女性の紹介等を求めてきた被害者に対して会員登録料金や保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
その他の特殊詐欺	上記特殊詐欺の類型に該当しない特殊詐欺をいう。
キャッシュカード詐欺盗	警察官や銀行協会、大手百貨店等の職員を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカードが不正に利用されている」等の名目により、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見るなどし、キャッシュカード等を窃取するものをいう。

(注) 預貯金詐欺とは、従来オレオレ詐欺に含まれていた犯行形態を令和2年1月から新たな手口として分類した。

発生概要

◆特殊詐欺被害認知状況

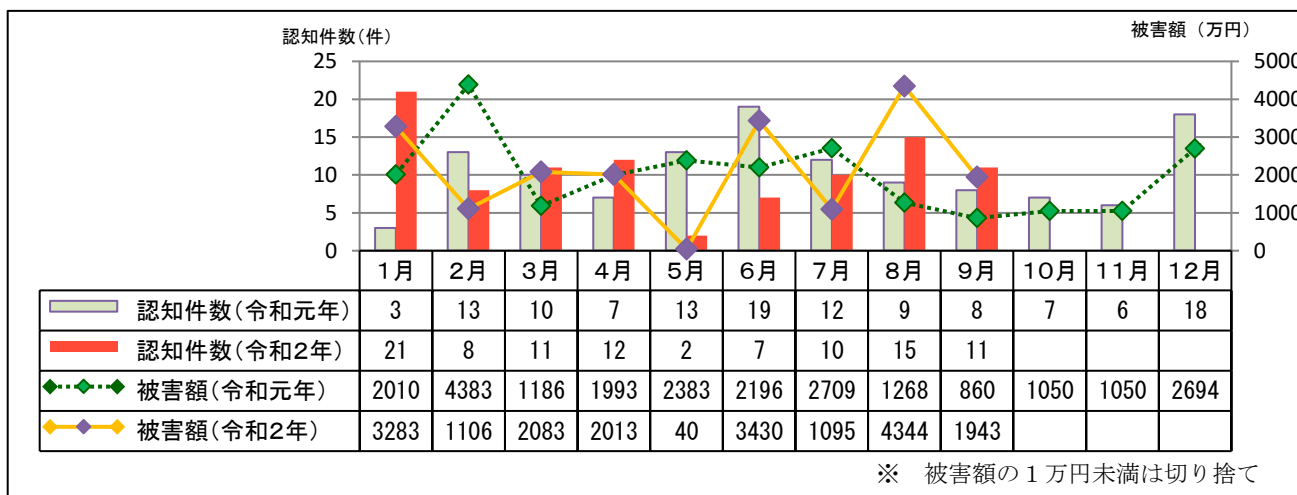
- 認知件数97件（前年同期比＋3件）、被害額1億9,340万2,464円（同＋347万3,958円、＋1.8%）、1件あたりの被害額199万円余（同－2万円余）
- 認知件数のうち、預貯金詐欺が36.1%、架空料金請求詐欺が33.0%、キャッシュカード詐欺盗が17.5%で、3つの手口の合計が、認知件数の86.6%（84件）を占める。
- 認知件数のうち、キャッシュカードなど対象の被害は56.7%（55件）を占める。
（内訳：詐取38件、窃取17件）
※ 詐取とはだまし取られること、窃取とは盗み取られること。
- 架空料金請求詐欺32件中、6月から9月に21件（65.6%）が発生し多発傾向
- 9月中、オレオレ詐欺1件、架空料金請求詐欺5件、キャッシュカード詐欺盗5件の計11件を認知（前年同期比＋3件）

◆令和2年9月末、詐欺被害認知件数・被害額 前年同期比（暫定値）

区 分	令和元年中		令和元年9月末		令和2年9月末		前年同期比			
	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	増減率	被害額(円)	増減率
特殊詐欺 合計	125	237,870,776 (62,939,000)	94	189,928,506 (30,094,000)	97	193,402,464 (79,405,000)	3	3.2%	3,473,958 (49,311,000)	1.8% (163.9%)
内 訳	オレオレ詐欺	22 (59,860,000 4,000,000)	18 (49,560,000 4,000,000)	6 (21,540,000 13,240,000)	-12	-66.7%	-28,020,000 (9,240,000)	-56.5%	(231.0%)	
	預貯金詐欺	40 (45,087,000 45,087,000)	25 (17,097,000 17,097,000)	35 (34,633,000 34,633,000)	10	40.0%	17,536,000 (17,536,000)	102.6%	(102.6%)	
	架空料金請求詐欺	38 (82,163,400 2,431,000)	32 (79,163,400 2,431,000)	32 (82,716,352 0)	0	0.0%	3,552,952 (-2,431,000)	4.5%	(-100.0%)	
	還付金詐欺	3 (3,542,777 0)	2 (1,995,507 0)	2 (1,630,323 0)	0	0.0%	-365,184 (0)	-18.3%	(0.0%)	
	融資保証金詐欺	6 (6,996,599 0)	5 (6,746,599 0)	4 (8,350,789 0)	-1	-20.0%	1,604,190 (0)	23.8%	(0.0%)	
	金融商品詐欺	3 (28,800,000 0)	3 (28,800,000 0)	()	-3	()	-28,800,000 (0)	()	()	
	ギャンブル詐欺	()	0 ()	1 (13,000,000 0)	1	()	13,000,000 (0)	()	()	
	交際あっせん詐欺	()	()	()	()	()	()	()	()	
	その他の特殊詐欺	()	()	()	()	()	()	()	()	
	キャッシュカード詐欺盗	13 (11,421,000 11,421,000)	9 (6,566,000 6,566,000)	17 (31,532,000 31,532,000)	8	88.9%	24,966,000 (24,966,000)	380%	(380%)	

※ キャッシュカードをだまし取られた後に払い出された金額（払出金額）も被害額（内数）として計上。
表記の「令和元年」は、平成31年1月から4月を含む（以下、同じ）。

◆特殊詐欺の認知状況（月別前年比）



◆認知状況表（月別・手口別）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
合計	21	8	11	12	2	7	10	15	11	0	0	0	97
オレオレ	2	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
預貯金	12	4	3	5	2	2	1	6	0	0	0	0	35
架空料金請求	5	3	2	1	0	5	7	4	5	0	0	0	32
還付金	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
融資保証金	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4
金融商品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ギャンブル	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
交際あっせん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キャッシュカード詐欺盗	0	0	2	6	0	0	2	2	5	0	0	0	17

◆市町村別特殊詐欺認知状況（暫定値）

罪種	市町村	特殊詐欺合計		オレオレ		預貯金		架空料金請求		還付金		融資保証金		金融商品		ギャンブル		交際あつせん		その他		キャッシュカード詐欺盗																	
		認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額																
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女																
総数	97	193,402,464	37	80	6	21,540,000	2	4	35	34,633,000	3	32	82,716,382	21	11	2	1,830,323	1	1	4	8,380,789	3	1									17	31,832,000	6	11				
長野中央																																							
長野南																																							
山梨																																							
中野																																							
須坂																																							
千曲																																							
上田																																							
小笠原																																							
佐久																																							
茅野																																							
諏訪																																							
岡谷																																							
伊豆																																							
南アルプス																																							
飯田																																							
阿南																																							
木曾																																							
塩尻																																							
松本																																							
安曇野																																							
大町																																							
その他																																							

※被害者の住居地をもとにした統計になりますので、警察署ごとの認知件数とは一致しません。
 その他は、県外居住の被害者が県内において被害に遭ったものです。

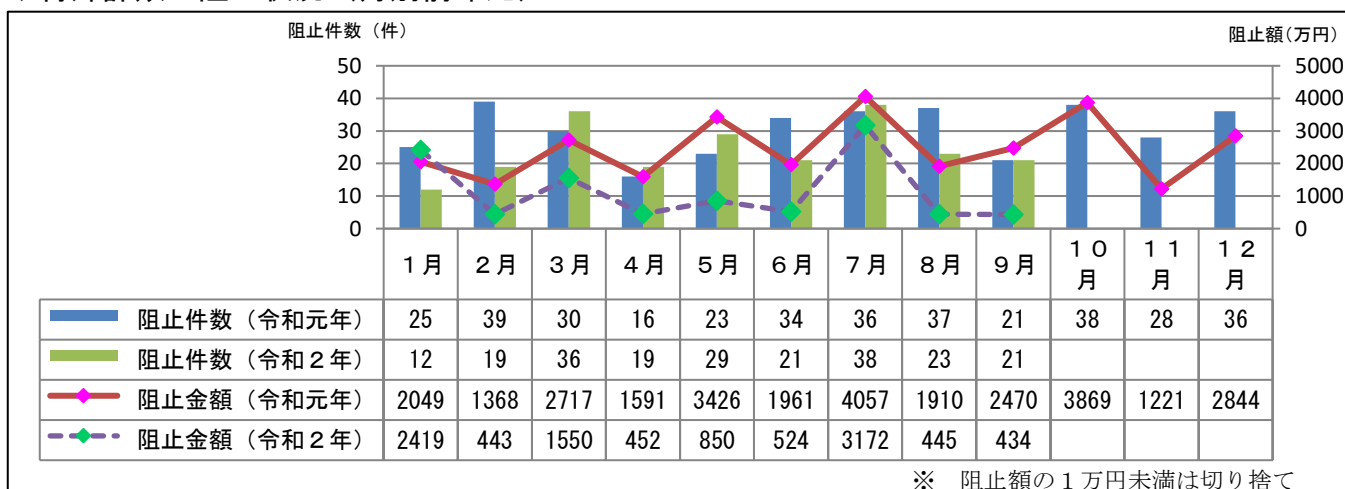
◆令和2年9月末 特殊詐欺被害阻止件数・阻止金額 前年同期比（暫定値）

区分	令和元年中		令和元年9月末		令和2年9月末		前年同期比				
	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	増減率	阻止金額(円)	増減率	
被害阻止 合計	363	294,899,373	261	215,542,937	218	102,946,450	-43	-16.5%	-112,596,487	-52.2%	
内 訳	オレオレ詐欺	96	208,316,000	72	155,526,000	35	45,089,990	-37	-51.4%	-110,436,010	-71.0%
	預貯金詐欺	18		9		11		2	22.2%		
	架空料金請求詐欺	217	83,632,174	156	57,195,738	160	56,080,660	4	2.6%	-1,115,078	-1.9%
	還付金詐欺	21	1,997,545	15	1,997,545	2	0	-13	-86.7%	-1,997,545	-100.0%
	融資保証金詐欺	3	167,184	2	167,184	2	800,000	±0	±0%	632,816	378.5%
	金融商品詐欺										
	ギャンブル詐欺	1	424,150	1	424,150	2	806,800	1	100.0%	382,650	90.2%
	交際あっせん詐欺										
	その他の特殊詐欺	7	362,320	6	232,320	6	169,000	±0	±0%	-63,320	-27.3%

○ 阻止率は69.6%（同-5.4%）

※ 阻止率=阻止件数÷(未遂事件を除いた認知件数+阻止件数)

◆特殊詐欺の阻止状況（月別前年比）



◆特殊詐欺阻止状況 月別・手口別一覧

阻止件数(件)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
オレオレ詐欺	2	1	15	8	2	2	1	1	3				35	16.1%
預貯金詐欺	1		5				3		2				11	5.0%
架空料金請求詐欺	9	16	13	11	25	18	32	21	15				160	73.4%
うち、 電子マネー	7	11	7	5	15	14	26	19	10				114	52.3%
還付金詐欺			1		1								2	0.9%
融資保証金							1	1					2	0.9%
金融商品														
ギャンブル					1				1				2	0.9%
交際あっせん														
その他		2	2			1	1						6	2.8%
合計	12	19	36	19	29	21	38	23	21				218	

◆令和2年9月末 特殊詐欺被害阻止者一覧表

被害阻止者(件)	特殊詐欺										阻止金額(円)	
	合計 (%)		オレオレ	預貯金	架空料金請求	還付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際あっせん		その他
金融機関職員	24	11.0%	3	2	14		2		2		1	42,384,800
コンビニ従業員	98	45.0%	2		93						3	12,862,290
運送業者												
警察官	2	0.9%			2							30,000
家族	65	29.8%	28	5	30						2	38,793,600
知人	14	6.4%		1	13							4,865,760
一般人												
その他	15	6.9%	2	3	8	2						4,010,000
合計	218	100.0%	35	11	160	2	2		2		6	102,946,450

※ その他の内訳：保険会社の社員（2件）、県市町村などの行政職員（5件）、社会福祉協議会職員（1件）、裁判所職員（1件）
携帯電話会社の社員（3件）、家電量販店店員（1件）、ドラッグストア店員（1件）、タクシー運転手（1件）

◆令和2年9月末、前兆事案件数

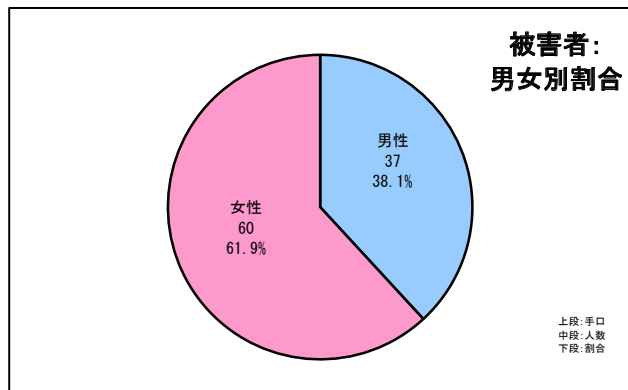
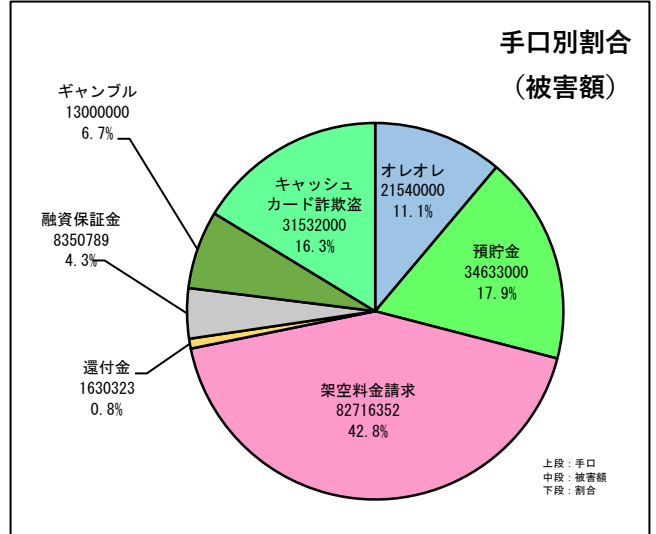
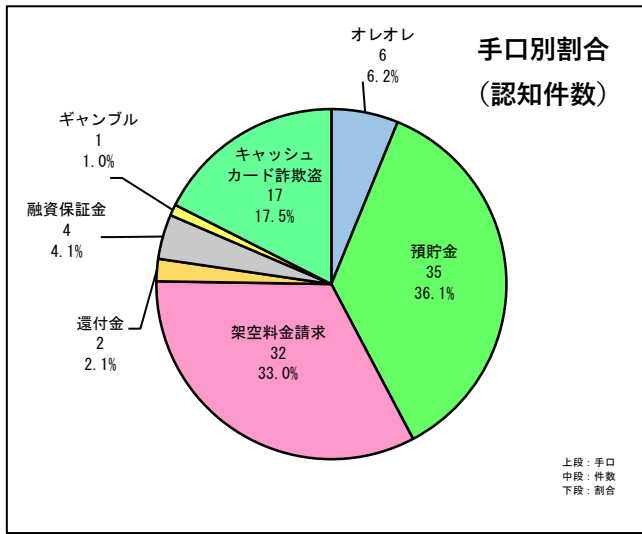
手口	令和元年9月末		令和2年9月末		増減		増減率	
	前兆事案		前兆事案		前兆事案		前兆事案	
		前兆事案のうち 犯行予兆電話		前兆事案のうち 犯行予兆電話		前兆事案のうち 犯行予兆電話		前兆事案のうち 犯行予兆電話
オレオレ詐欺	631	(631)	191	(191)	-440	(-440)	-69.7%	(-69.7%)
預貯金詐欺	53	(53)	271	(271)	218	(218)	411.3%	(411.3%)
架空料金請求詐欺	1928	(28)	723	(34)	-1205	(6)	-62.5%	(21.4%)
還付金詐欺	68	(68)	29	(29)	-39	(-39)	-57.4%	(-57.4%)
融資保証金詐欺	6	(5)	1	(1)	-5	(-4)	-83.3%	(-80.0%)
その他	21	(16)	139	(111)	118	(95)	561.9%	(593.8%)
合計	2707	(801)	1354	(637)	-1353	(-164)	-50.0%	(-20.5%)

◆前兆事案の特徴

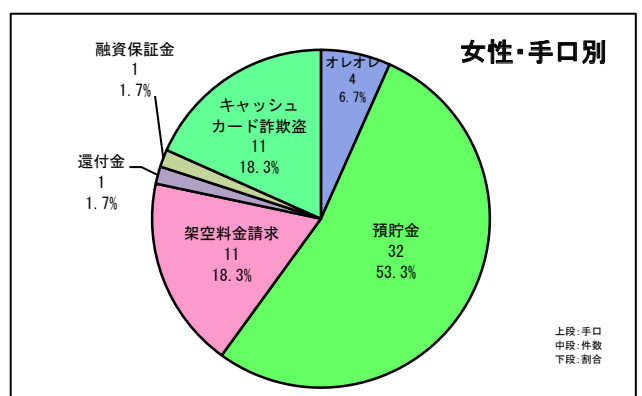
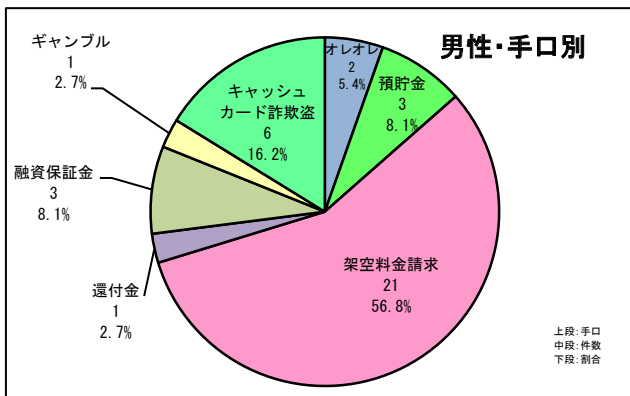
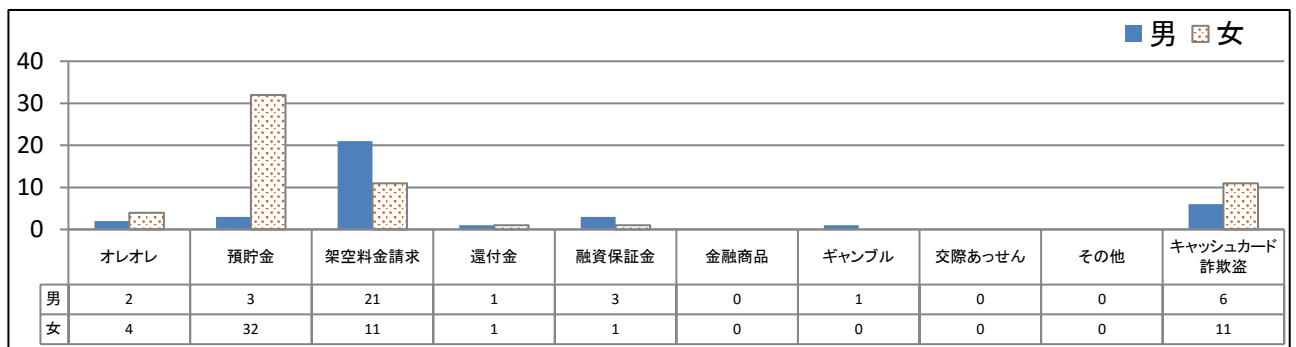
- 前兆事案は、前年同期比で1,353件減少（1,354件）
- オレオレ詐欺は、前年同期比で440件減少（191件）
- 預貯金詐欺は、前年同期比で218件増加（271件）
- 架空料金請求詐欺は、前年同期比で1,205件減少（723件）
 - ・ 架空料金請求詐欺のうち、「紛争問題確認通知」「民事訴訟最終通達書」「督促状」等と題するハガキや封書使用によるものが45.8%（331件）
- 還付金詐欺は、前年同期比で39件減少（29件）

特殊詐欺の発生傾向（詳細）

◆手口別認知状況



◆手口別・男女数



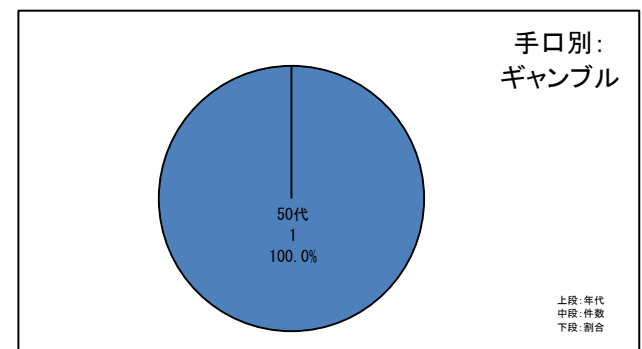
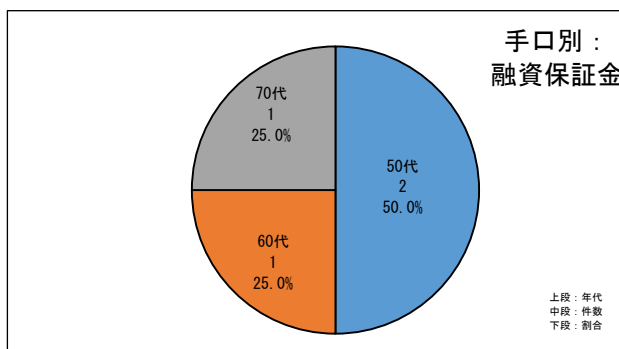
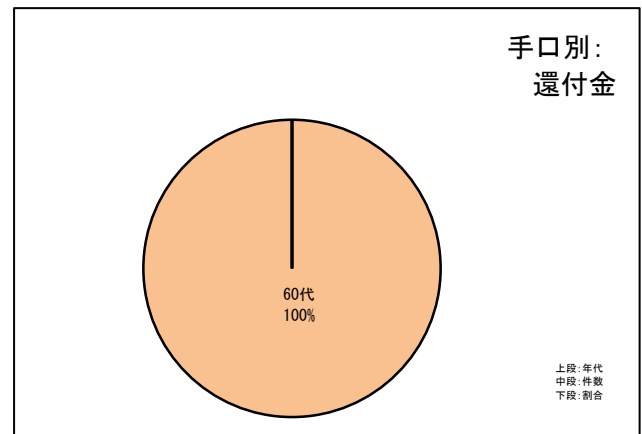
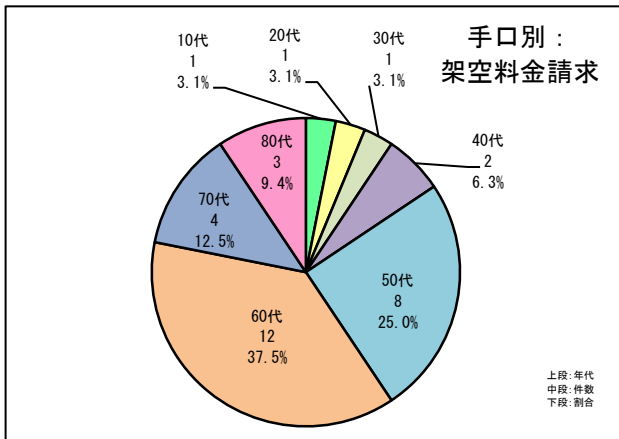
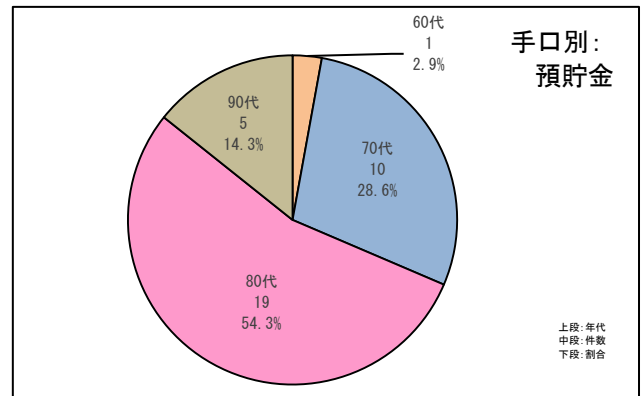
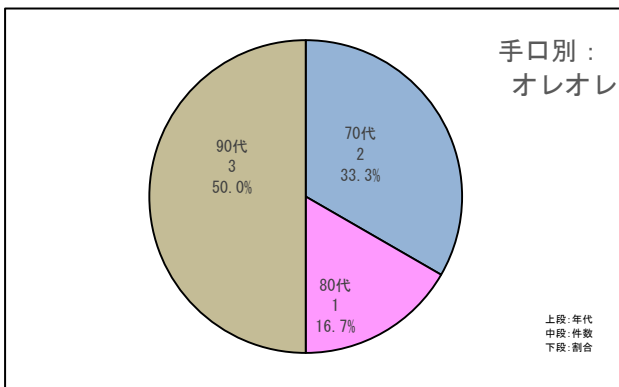
◆被害者の職業

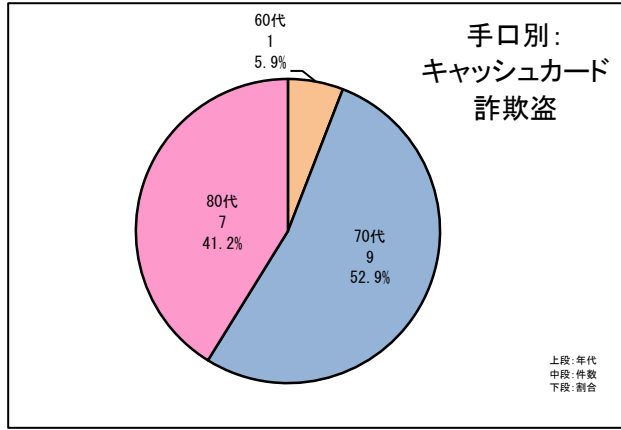
	無職	会社員・会社役員	団体職員	契約社員・派遣社員	自営業	その他	合計
人数(人)	64	18	0	5	9	1	97
割合	66.0%	18.6%	0.0%	5.2%	9.3%	1.0%	100.0%

◆年齢別一覧

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計	
割合	1.0%	1.0%	1.0%	2.1%	11.3%	17.5%	26.8%	30.9%	8.2%	97	
人数(人)	1	1	1	2	11	17 8 9		26	30		8
高齢者別	高齢者以外 24					高齢者(65歳以上) 73					
割合	24.7%					75.3%					

◆手口別年齢構成比





◆交付方法

【主たる交付形態】

	振込型		現金手交型		キャッシュカード手交型		現金送付型		電子マネー型		収納代行利用型		キャッシュカード窃取型		合計	
	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂
認知件数	10		3	1	38	1	8		21				17		97	2
被害額	48,727,764		8,300,000		47,873,000		44,960,000		12,009,700				31,532,000		193,402,464	

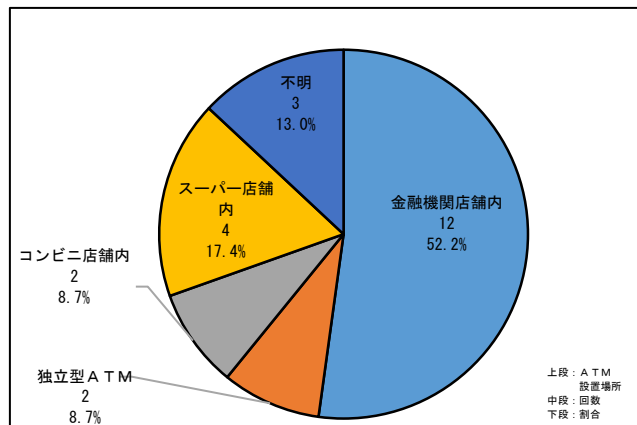
※ キャッシュカード窃取型は、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見てキャッシュカード等を窃取するものをいう。

【延べ数】

	振込型				手交型			送付型							キャッシュカード窃取型	合計		
	窓口	ATM	ネット振込	振込(その他)	自宅	呼出(駅・路上等)	上京型	レターパック	普通郵便	ゆうパック	宅配便	書留類	電子マネー	収納代行			送付(その他)	
オレオレ詐欺					4	1												5
預貯金詐欺					34													34
架空料金請求詐欺	3	21	1								15		66	2				108
還付金詐欺		2																2
融資保証金詐欺	3		13								1							17
ギャンブル詐欺			9															9
キャッシュカード詐欺盗																	17	17
合計回数	6	23	23		38	1					16		66	2			17	192
構成比	3.1%	12.0%	12.0%		19.8%	0.5%					8.3%		34.4%	1.0%			8.9%	100.0%
被害額(円)	19,432,777	11,658,574	19,436,413		48,793,000	7,380,000					41,260,000		13,409,700	500,000			31,532,000	193,402,464
構成比	10.0%	6.0%	10.0%		25.2%	3.8%					21.3%		6.9%	0.3%			16.3%	100.0%

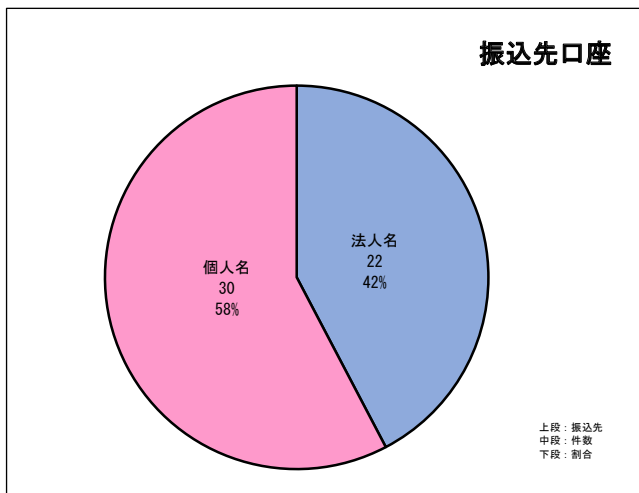
※ 上京型は、被疑者が県外に被害者を呼び出して現金等を詐取すること。

【振込場所 (ATM)】

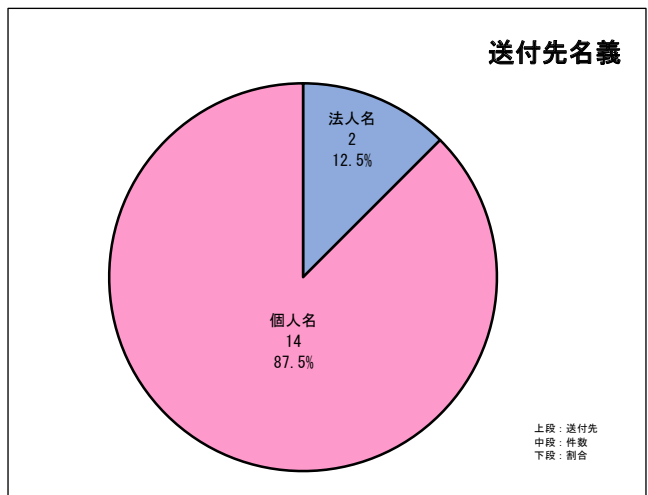


◆振込先の口座名義一覧・送付先の宛先一覧

【振込先口座】

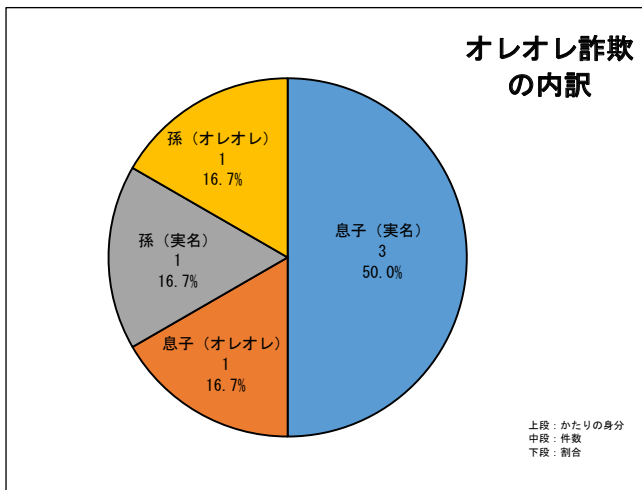


【送付先名義】

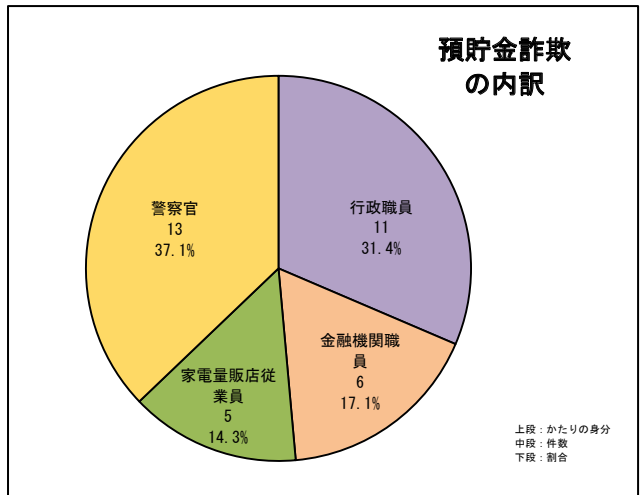


◆手口別特徴

【オレオレ詐欺】



【預貯金詐欺】



【架空料金請求詐欺】

